

# 2022 農業機械化フォーラム 「みどりの食料システム戦略を支える農業機械化」

主催：一般社団法人日本農業機械化協会

## 開 催 要 領

### I 趣 旨

現下の農業に対しては、生産力向上と持続性の両立の実現が求められている。これをイノベーションにより実現していく取り組みが「みどりの食料システム戦略」である。農業機械化の観点からも積極的にこれに貢献していくことが期待されていることから、本フォーラムでは、環境負荷低減や有機農業の推進などに対する機械化技術の開発や普及の取り組みの現状と今後の方向について検討を深め、「みどりの食料システム戦略」の推進に寄与していく。

II 日 時 令和5年3月1日（水） 13：00～17：00

III 場 所 農研機構 農業機械研究部門（さいたま市北区日進町1-40-2）  
はなの木ホール、テストコース

### IV 日 程

[受付] はなの木ホール1階 12:30～13:00

[第一部] 機械等展示（テストコース） 13:00～14:00

展示協力メーカーによる展示・説明

出展メーカー：井関農機(株)、(株)クボタ、(株)ササキコーポレーション  
三菱マヒンドラ農機(株)、ヤンマーアグリ(株)

[第二部] フォーラム（はなの木ホール2階） 14:00～17:00

1 挨拶 主催者、農林水産省

2 講演（テーマは仮のものです）

(1) みどりの食料システム戦略について（農林水産省）

(2) 農業機械の電動化・カーボンニュートラル化の動向とこれを支える  
研究・検査の取組（農研機構 農業機械研究部門）

— 休憩 —

(3) 農業機械電動化・カーボンニュートラル等の取り組み（(株)クボタ）

(4) アイガモロボの技術実証の取組（井関農機(株)）

(5) 野菜収穫ロボット実用化の取組（inaho(株)）

(6) 電動草刈ロボット（スマモ）実用化の取組（(株)ササキコーポレーション）

3 パネルディスカッション

- V 後 援 農林水産省、(国研)農研機構・農業機械研究部門  
一般社団法人日本農業機械工業会、全国農業機械士協議会
- VI 参集範囲 農業経営者、農業機械製造業者、農業機械販売整備業者、農業機械化行政・普及組織関係者、試験研究機関、農研機構・大学関係者、その他本テーマに関心のある皆様
- VII 参加費 無料
- VIII 参加申込方法
- ・ 別紙「2022 農業機械化フォーラム参加申込書」に必要事項をご記入の上、事務局宛にメール又はFAXでお申込みください(申込書は下記のHP「お知らせ」からも入手できます)。<<https://nitinoki.or.jp/>>
- (注) 会場の都合上、参加者多数の場合は参加人数を調整させていただく場合があります。
- IX 申込み締切は2月17日(金)

【参加申込み・お問い合わせ先】

事務局：一般社団法人日本農業機械化協会

信田 金井

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館

TEL： 03-3297-5640 FAX： 03-3297-5639

メール： kikaika-info@nitinoki.or.jp